



〒111-8765 東京都台東区西浅草 3-17-1 浅草ビューホテル 2階
TEL. 03-3847-1111 FAX. 03-3847-0154 URL : http://www.asachu-rc.jp

2012 - 2013 年度テーマ

R.I. テーマ 「奉仕を通じて 平和を」 R.I. 会長 田中 作次
地区ガバナー 石川 正一
クラブテーマ 「クラブライフの充実で、ロータリーの魅力を語ろう!」
クラブ会長 原田 毅

本日の卓話

「よねやまの歴史、現状、展望」

地区米山奨学委員長 友野英三様

今後の卓話予定

10/17 「今、求められる人間力」 明治大学名誉教授 経済学博士 百瀬恵夫様
10/24 「あなたにとって職業奉仕とは？」 上原洋一会員



2012年10月10日

第1288回例会

会長 原田 毅
幹事 宮村 義男



年間100%出席

永井健一君 17回

前回 (9/26 1286 回例会) の記録

来訪者紹介

◆ゲスト 0名
◆ビジター 2名 東京足立R.C. 北澤艶子様、東京北R.C. 高橋敏弘様

出席報告

総会員数	休会	出席免除	出席	欠席	出席率	修正出席率
46名	1名	4名	30名	14名	68.18%	1285回例会修正 欠席4名・出席率90.70%

東日本大震災で被災された皆様に一日も早い平和と復興がおとずれますようにお祈り申し上げます。このような時こそ、我々ロータリアンは『五大奉仕』を実行・実践しましょう。明日の日本と世界はみんなの手の中に！

会長報告<原田会長>

- ・マーティン・ファクラー ニューヨークタイムズ 東京支局長 双葉新書 「本当のこと」を伝えられない日本の新聞
何故新聞は「権力者の代弁」ばかりを繰り返すのか?
「3.11と新聞の敗北」の裏側
3.11後、日本の大手メディアは、「フクシマの問題、SPEEDIの問題等々」結果的に当局の隠蔽工作に加担する事になってしまった。それは同時に、著者が日本における取材活動の中で強い不満を覚えていた「記者クラブ」制度が抱える矛盾が、日本国民の目の前に一

気に出した瞬間でもあった。日本の主要メディアの記者の大半が、何らかの形で記者クラブに所属し、取材相手と友好関係を保ちながら(癒着と言うべきか?)、取材活動をしている。これでは日本のメディアは「企業や官僚制度の番犬」のようなものだ。アメリカ人にとって、ジャーナリズムは「watch dog 権力の監視者」であるべきだという強い共通認識がある。

「日本政府は避難民を大きな危険の中に置き去りにしたまま放射能データを隠し持った」
2011年8月9日付ニューヨーク・タイムズ
SPEEDI (緊急時迅速放射能影響予測ネット

[〈次頁へつづく〉](#)

ワークシステム)を政府が旨く活用できなかつたせいで、福島県浪江町の人々は放射線量が最も高い地域に避難させられてしまった。浪江町の馬場町長の声「政府による情報の隠蔽は“殺人”と同じだ」

日本経済新聞は「企業広告掲示板」大企業の重役とべったり付き合う記者政治家のために記者がバースデイ・パーティ? M銀行の批判記事を書いた著者に「広告引き上げ」と言う圧力が……。

幹事報告<宮村幹事>

- ・理事会変更のお知らせ
先週の幹事報告でも申し上げましたが、北分区ゴルフ予選会の為5名の理事が欠席です。よって次回10月10日に理事会を行います。
- ・次回例会場変更のお知らせ
次回の例会は25階「大輪」で行います。
- ・11月14日開催のIMの出欠を回しております。出欠のご記入の程お願い致します。
- ・気仙沼に於いて地区ローターアクトの支援活動についてご報告いたします。
地区ローターアクトでは気仙沼南ロータークラブと協同にて「気仙沼市における仕事創出プロジェクト」を進めています。このプロジェクトは気仙沼市における若者の仕事創出のための活動で地区ローターアクト4月に行った現地調査に基づいて4つのプロジェクトを作りました。その一部を9

月10日に地区新世代奉仕委員長の茂木正光氏より卓話がありましたのでご記憶の方もあるかと思えます。

このプレゼンテーションが先週の土曜日の夕方気仙沼市民会館にて行われました。私もその日、気仙沼のカキ養殖業者の支援活動をしてましたので、それを終えた後参加致しました。メンバーは2580地区のローターアクトと地元の気仙沼ローターアクト、気仙沼南ロータークラブのメンバーで総勢30名ほどでした。

内容につきましては来年3月に東京ローターアクトの方が卓話をされますので是非お聞きいただければと思います。実現には時間がかかると思われますがローターアクトの熱意を感じました。私も次年度に於きまして新世代奉仕委員会を中心にこの活動を支援して行こうと考えております。

委員会報告

<社会奉仕委員会 上野委員長>

- ・地区社会奉仕委員会より、中学生等の職場

体験への事業所提供の登録依頼が来ております。



立野ご夫妻の結婚の義、
立会人我ら浅草中央ロータリアン

ニコニコボックス

<山尾、立野>

- ・本日の卓話宜しくお願い致します。

<永井、藤掛、松崎、藤田、小池、上野、長島、海内、古谷、渡辺、中村、原田、尾泉、潮田、大塚、笹生>

- ・立野さん、山尾さん、イニシエーションス

ピーチ、頑張ってください。

<永井、松崎、古谷、尾泉、笹生>

- ・お誕生日のお祝い、ありがとうございます。

<藤掛、松崎、長島、天笠、海内、中村>

- ・第2580地区懇親ゴルフコンペ北分区予選会、健闘を祈る。

<吉田>

- ・長月会、第13回目を楽しく、大勢の皆さんが参加してくれて、有難うございました。

<天笠>

- ・先週は娘の話を聞いて下さりましてありがとうございました。北京の博物館から招待が延期になったと残念がっていました。

<松崎、長島>

- ・東日本大震災
頑張ろう東日本、立ち上がれ日本!!

<笹生>

- ・ハッピーバースデイソング

“誕生日“に感謝! そこで吉例「歌うニコニコ」
ハッピーバースディ・アンサーソング

「浅草の佃煮屋さん」

♪浅草のはずれの 佃煮屋さんは
今年69(歳)の お爺さん
年はとっても 佃煮煮る時は
元気いっぱいザル上げる
ソレ 真心込めて 釜上げる

作詞・歌唱 笹生淡水

会員卓話

新入会員・再入会会員 イニシエーションスピーチ



立野 秀一 会員

皆様こんにちは、新入会員の立野です。浅草中央クラブに入会させていただき3か月がたちましたが、改めて若輩者である私を推薦下さった藤掛様、原田会長そして温かく迎え入れて下さった皆様方に深く御礼申し上げます。未だ何を行うにも初めてのことばかりで右も左も分からない状況ではありますが、本日はこのような機会をいただいたことを大変感謝しております。

1. 生い立ち

私は昭和52年生まれで今年35歳になります。巳年にさそり座なので知り合いに「蛇蠍ですね」といわれたことがありました。なのでというわけではありませんが、意図的に人にしつこくしないあるいはできないところがあります。文字通りといわれるのが怖いのかもかもしれません。

生まれは横浜の本牧です。というと皆さんに「えっ?」といわれますが、あまりにあか抜けていないからだと思います。その後何か月もしなううちに神奈川県平塚市に引っ越しをしています。生まれた時からアトピー性皮膚炎を患っ

ていたのですが、少しでも空気のいいところに行こうという両親の判断だったようです。

小学校に上がる前に父親の実家の茨城県潮来市に移りました。田舎だったので外から来たものはよくいじめられる閉鎖的な環境で、「団地っこ」「鍵っこ」など囃したてられ、石を投げられたりしました。そのことを父親に言うと、今度は父親から竹刀で叩かれ、毎晩腕立て伏せ、腹筋、スクワットをさせられました。父も悔しかったんだと思います。おかげで高学年になるころにはいじめもなくなりましたが、腕立て伏せは続いていたので、夜父親が帰ってくるのがとてもいやでした。

中学、高校と部活は柔道部でした。全く体格に恵まれず中学入学時の身長・体重は149cm・35kgという棒のような身体でした。同級生には100kgを超えている者もあり、背負い投げをかけてもつぶされて骨折するなど苦労しました。決して強くはなれなかったものの、練習はとにかく休まなかったので、中学を卒業する頃には身長・体重をそれぞれ20つつ上乗せされておりました。当時の部活はいじめもひどく、先輩に通信簿を見られ、5があったから殴られるとか、道場の赤畳をいいというまでうさぎ跳びさせられるなど散々でしたが、忍耐強さの下地はこのころ作られたのかなと思います。高校でも続けて頑張った柔道でしたが、大した目も出ず、地区ブロック予選の3位が自分のベストでした。なお、私のまねをして柔道を始めた弟は国体に出るまで成長し、身体能力の差を見せつけられました。

高校のときから、田舎から逃げ出したい、都会にでたいというありきたりな理由でしたが、クラス最低の学力で担任から「今年は諦めろ」と言われる中、自分なりに必死に勉強し、なんとか大学に進学することができました。ちょうど同じ時期に方言を使わず言葉づかいを標準語に改めました。これも田舎に住んでいることのコンプレックスだったと思います。ちなみに今ではほとんど話すことができません。

うちは両親共働きで、裕福ではなかったのですが、大学1年次と4年次に新聞配達で生計をたてました。高校生頃の頃、人付き合いが苦手な35人の学級の中で8人しか話さなかった私は人間関係で非常に悩みましたが、住み込みが結果的にはいい経験であったと思います。配達用のホンダスーパーカブにより、私はバイクの面白さに目覚め、店長から譲ってもらった川崎のアメリカンタイプのバイクで長野の木曽路を走ったり、青森県の大間崎から一日で帰ってきたりとツーリングを楽しみました。大学の2・3年次は、新聞配達から解放され、三ノ輪でアパートを借りて本当の大学生活を謳歌しました。以前から興味を持っていた極真空手を浅草の道場で学んだり、授業を休んで浅草中映で洋画の2本立てを観たりしていました。しかし、4年次には、実家の家計も雲行きが怪しくなり、志半ばで空手をやめ、東四つ木の専売所に住み込みで働くことになりました。

実は、最初に司法書士を志してから、試験に合格するまで、私は8年かかっております。司法書士というものを最初に意識したのは大学4年のことでした。当時周りは就職活動一色でしたが、私自身は肌の調子が良くなく、またちょうど新聞配達を再開したところでした。就職活動をしていない負い目から、資格予備校に貯金を切り崩して夜間通学しましたが、どうしても肌が気になり、人のいるところに行くのがつらく、3か月で断念してしまい、その後は大学にも行かずに惰性で配達等の業務を行うだけで、そのまま留年してしまいます。母親に強引に促され、翌年の3月に新聞配達を辞めて田舎に戻ることにしました。1、2年ほどの引きこもりの期間を経て、ベルボーイとして働いていた訳ですが、今度はアトピー性の網膜剥離になり、医者から肉体労働は無理だと言われて、途方に暮れていたところ、友達の法律相談の付き添いで行った司法書士の先生から「働いてみないか?」とお誘いを受けました。ようやくそこで本気で自分の職業と将来を考えるようになり、勉強を再開しました。平成18年の秋にやっとのことで合格することができましたが、その年の春先に事務所の先生は癌で亡くなり、合格証書を見せることができなかつたのが残念でした。

2. ロータリークラブとの出会い

平成22年の3月に約2年ほど努めていた中央区の事務所を退職し、翌月事務所を浅草に開設しました。当時は仕事のやり方は分かるものの仕事の取り方が分からないという文字取り無謀なものでした。毎日試行錯誤してみるものの、お金ばかり飛んで行ってしまうため、だんだんと食費を削るようになり、ある時期は、吾妻橋の交差点のところの助六そばでワカメ蕎麦ばかり食べていました。一食たべるとチケットがもらえ、10枚集めるとそばが頼めます。ある日10枚持って行くと、おばちゃんが隠れて10数枚のチケットをくれました。どうやら顔を覚えられたようで、温かい街だと思ったものです。

当時私は台東区の事業資金の融資を朝日信金を通じて受けていた関係で、融資担当の方がよく親身に相談にのってくださいました。その方にあるとき、人脈を広げるのにいい方法はないかと尋ねたところ、商工会議所の入会を勧められたのでした。とりあえず入会したもののやはり何をしたいのか分からない中で、単なる自分の興味本位で初めて出席した商工会議所主催の会が草津亭のもので、そこで前に座ってらっしゃったのが、藤掛様であったのです。

草津亭には、単独で参加しましたので、話ができる方などいなかったのですが、藤掛さんは、ぽつんと場違いなところにいる私に非常に温かく接して下さり、また少し経って現れた山尾さんも同様に温かく接して下さいました。その後二次会にも案内して下さり、更に二次会ではロータリークラブの訪問までお勧めいただきました。あの時お二人に出会わなければ、当然本日私はここにいなかった訳であり、ご縁を頂けたことに大変感謝しております。

3. イタリア人の妻

さて、今更な感もありますが、私の妻はイタリア人です。「どうして知り合ったのか?」とよく聞かれますが、いってみれば「インターネット」です。しかし、一時期この質問が嫌でいろいろ嘘をついたこともありました。なぜなら、ある時期テレビなどの報道によってインターネットで出会ったという、そのまま「出会い系」をイメージされることが多かったのです。今から約10年ちょっと前のことですが、大学卒業後もステロイドのリバウンドで肌のただれがひどく、母親の家で引きこもりをしていました。1、2年ほど経ってだいぶ回復してきたので、成田空港に近いホテルでベルボーイの仕事を始めました。当時のホテルの客層は、日本人と外国人が半々ぐらいで、「給料もらいながら英会話学校に来れた」などと考えていましたが、実際は話すことも、聞き取ることもとても困難でした。日常会話では教科書に出てくる様な定型文ばかりが飛び交う訳ではなく、どうしたものかと考えていましたが、インターネットで「チャット」というものがあることを発見しました。これは、インターネットを使った文字の会話のようなものなのですが、通常の会話と違うのは、そのまま残った文章を辞書で調べることができることです。また、面と向かって話すのではないので、多少返答に時間がかかっても会話が成立するのです。このチャットで徐々に会話の中での言い回しを覚え、実際ホテルのゲストに使って反応を見ながら会話を覚える努力をしました。ところでチャットをしているうちに、特定の人と話す機会が多くなりました。もうお分かりでしょうが、その中にうちの妻はいました。もともと日本の音楽にとっても興味をもっており、私の名前がエックスのヒデと似ているなどの会話を最初の頃にした記憶があります。その後、プライベートでメールを交換するようになり、その後誘われるがままに、イタリアに単独で初の海外旅行に向かいました。その後1、2回互いに往き来して、平成19年に結婚しました。

4. 司法書士法人 オルト

現在私は、司法書士法人オルトという事務所の東京事務所のいわゆる支店長のような立場で、業務を行っております。しかしながら、現在従業員は私を含め2名しかおりませんので、外回りの営業から封筒への切手貼りまですべて自分たちでおこなっている状況です。これは個人でやっていたことろ変わらないのですが、現在は以前にも増して、営業に力を入れている最中です。個人での業務は責任も喜びも一倍ですが、仲間と共に仕事をして、責任はともかく喜びを大きなものにしたと考えております。それと共に、常に勉強を怠らず、依頼者に対していつも最善の方法を提案できるように精進したいと考えております。





山 尾 尚 司 会 員

父方が京都で、母方が土佐という両極端の血筋を受け継いで生まれたのが私です。

土佐は一般的に男性は“土佐のいごっそう”と言われ、頑固で気骨のある男を指しますが、女性は“はちきん”と言われ、負けん気が強いが情にもろく、おだてに弱いとされております。京都はどんな人にもへりくだるが本音は別にあり、白黒をつけたがらない気質が多いようです。因みに京都で言う戦後は応仁の乱を指し、落語で使われる「ぶぶ漬けでも食べていきなはれ」と言うのは、間接的に昼時で帰る潮時と伝える訳ですが、逆にとらえられているようです。その私が50年以上、東京に暮らし今やエセ江戸っ子を自負しているわけですから、人の人生とは判らないものです。

血筋のせいでしょうか？ 人より多少、優れたものがあるとすれば、間が良いせいか人との交友関係は恵まれていると思っております。

広辞苑でいう「間」は、①あいだ、すきま、ひま ②音楽や舞曲の調子、拍子のうつりかわるおり ③ころあい、しお、その場の様子 と表記されております。間という言葉は色々な使われ方をしておりますが。例えば、「間違い」「間抜け」「間が悪い」「間に合う」「間を配る」「間もちが良い」等とありますが、人と人との関係は「間合いを図る」ことだと考えております。席順では上下関係、相性等に気を配ることであり、会合では、相手と自分の会話のキャッチボールを心がければ、話が弾むということになります。

営業でも一方的に喋やらずに、一呼吸おきながら相手の目線を見て反応をはかりながら話せばうまくいく可能性が大だと思います。

現在、社会全体が余裕、この「間」を忘れがちですが、政治でも今回の尖閣諸島のような問題がギクシャクせずに済んだのではと思われてなりません。

この歳になって自然体で間合いをこなせるようになったと自負しておりますが、酒席等で気付かずに間を外しご迷惑をお掛けすることがあるとすれば、加齢のせいということで、ご容赦願います。